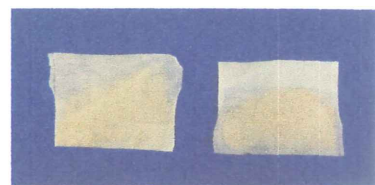


日本アクティブではすでに、あくていぶミニニュースでもご案内のとおり、独自に埼玉や福島県飯舘村で水道水の放射性物質の分析を行い、いずれも水道水には放射性物質は検出されませんでした。このデータからも現在の国内の水道水はこと、放射性物質に対しては安全であると考えます。しかし今後は、米や野菜、肉などの農畜産物への放射性物質の汚染が心配されます。その対策として、ゼオライトの有効活用も今後ご提案していきます。



ティーバッグタイプのゼオライト

外川保育園様（千葉県銚子市）にいみフルハウス25導入！

魚の水揚げ日本一の漁港として有名な千葉県銚子市。その銚子市のシラト電機商会様のご紹介により、同市内にある外川（とがわ）保育園様ににいみフルハウス25が7月に導入されましたのでご報告します。

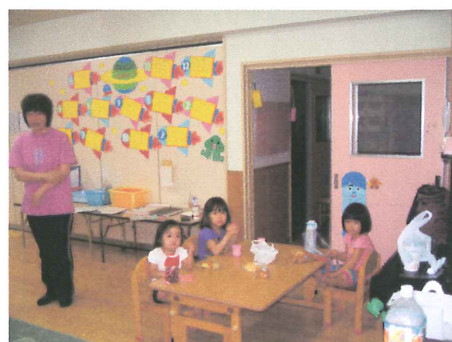
3月11日に発生した東日本大震災で、銚子市も震度5以上の大きな揺れを感じました。また、港では2.5mの津波も観測されました。この折に外川保育園の大木園長先生が心配したのが、福島原発で発生した放射性物質漏れの事故の子供達への影響でした。

3月23日に東京都の金町浄水場で放射性物質が検出され、特に保育園での飲み物の安全確認が課題となりました。大木園長先生は、ご自宅ですでに15年に渡ってにいみを愛用され、水の良さを十分に実感されており、購入先であるシラト電機商会に保育園の飲料水と給食の仕込み水を浄水できる浄水器の導入を相談されました。何度かの打ち合わせの末に、逆洗浄機能を持つ大型浄活水器にいみフルハウス25の採用が決定しました。浄水器設置に当たり、さらに子供達が気軽ににいみの水を飲めるように、にいみ専用の水飲み場も設置しました。保育園は夏も子供達を預かっています。

この暑い夏、子供達は今日も元気ににいみの水をたっぷり飲んでいきます。一般家庭から業務用まで、安心・安全のにいみの水が活躍しています。



外川保育園の様子



元気な子供達



にいみフルハウス25設置の様子



にいみ専用の水飲み場